

ふれあいはずぬま次期活用計画（Ⅱ期）に関する説明会【議事要旨】

- 1 日 時 : 【1回目】令和6年8月5日（月）午後4時から
【2回目】令和6年8月6日（火）午後7時から
- 2 会 場 : 【1回目】ふれあいはずぬま第5集会室
【2回目】ふれあいはずぬま第5集会室
- 3 参加者 : 17名（内訳：【1回目】10名、【2回目】7名）
- 4 説明内容 :

① 開会挨拶	教育施設担当課長
② 「学びの多様化学校」の制度や施設のコンセプト等について	統括指導主事
③ コンセプトに基づく配置計画等について	事業企画担当係長
④ 質疑応答	各所管課担当者

5 質疑応答（■住民 ○行政）

【1回目：令和6年8月5日（月）午後4時から】

- 設計はいつ頃から開始されるか。
 - 配布資料内「今後のスケジュール」のとおりで、令和8年度末までに、設計が完了する予定である。
- 設計完了後も具体的な説明を受ける機会があるか。
 - 設計の段階においても、説明する場を設ける予定である。
- 水害対策について、どのように考えられているか。
 - ハザードマップなどを確認したうえで、設計を進めていく予定である。具体的には、多摩川の氾濫を想定し、体育館は2階以上に配置することを考えている。また、ゲリラ豪雨等も想定し、地面に対する床の高さを50cm程度上げることも考えている。
- 排水ポンプは備えるのか。
 - 止水板の設置を考えている。排水ポンプについては、他の区立学校の状況を踏まえて検討していく。

【2回目：令和6年8月6日（火）午後7時から】

- 他の大田区立学校の建物面積は何㎡か。
- 平均的な建築面積は約 7,000 ㎡程度である。このうち、小学校が約 6,000 ㎡程度、中学校が約 8,000 ㎡程度である。

- 児童・生徒1人あたりの建築面積で考えると、他の大田区立学校よりも広がるのか。
- 児童・生徒の基本的な活動場所となるパレットにおいては、他の区立学校よりも児童・生徒1人あたり建築面積は広がる予定である。特別教室等においては、他の大田区立学校と同じような広さとなる予定である。

- パレットに仕切りはあるのか。
- 児童・生徒の活動実態などを踏まえて、今後検討していく。

- 屋上に太陽光パネルを設置するか。
- 太陽光パネルの設置を含め、環境の目標として ZEB Ready 以上を目指していく予定である。

- ふれあいはすぬま次期活用計画（Ⅰ期）の建物との関連はあるのか。
- Ⅰ期施設には地区備蓄倉庫が備えられているが、蒲田西地区全体のものである。Ⅱ期施設の防災備蓄倉庫は避難所機能として必要な物品等を備蓄するものである。

- 校庭南側に門扉は設けないのか。
- 校庭南側に門扉を設けることを考えているが、具体的には今後検討していく。

- 施設からの視線や音等について、近隣へ配慮するか。
- 配慮する予定であるが、具体的には今後検討していく。

- 会議室はどこに配置されるのか。
- 建物1階、校庭側への配置を考えている。

- 交流・飲食ひろばで調理は行われるのか。
- セントラルキッチン方式により配送された食事の販売を考えている。低温配送も考えられるため、温めなどの簡易調理はできるようにする予定である。

- 児童・生徒が地域とともに調理ができるスペースはないのか。
- 生活ラボ（いわゆる家庭科室）を交流・飲食ひろばに隣接させる予定である。具体的には今後検討していく。

以上